

県機関の協働による

要保護児童対策地域協議会の運営支援

～被災地における市町村支援とネットワークづくり～

気仙沼保健福祉事務所 褒岩美之

東部児童相談所気仙沼支所 加藤亮太

報告の流れ

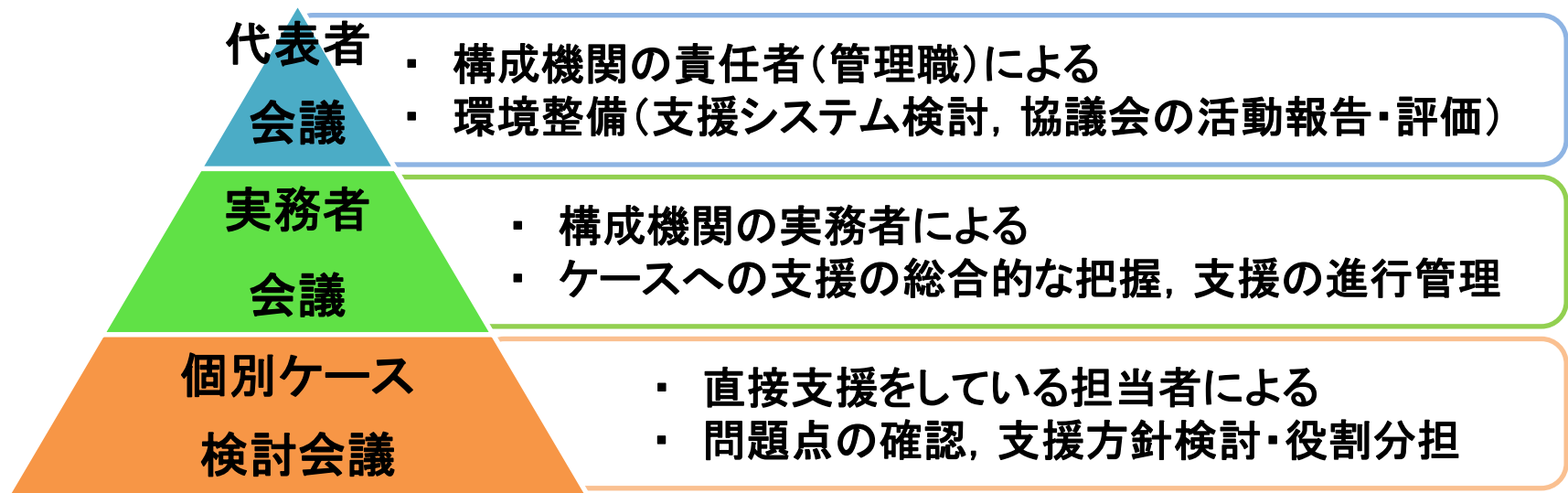
- 1 要保護児童対策地域協議会とは**
- 2 管内（気仙沼圏域）の状況**
- 3 要対協運営に向けた支援**
- 4 今後に向けて**
- 5 まとめ**

要保護児童対策地域協議会とは

- **要保護児童等**の早期発見・適切な保護のため、関係者間で情報の交換と支援の協議を行う機関
- 地方公共団体に設置の努力義務

被虐待児童，
保護者のない児童，
保護者に監護させることが
不適當である児童 等

要保護児童対策地域協議会（要对協）



気仙沼圏域の状況

市町

- 1市1町(気仙沼市・南三陸町)
- 東日本大震災での甚大な被害
- 子ども・家庭の生活環境の複雑化
- 要対協設置済み(設置年)
 - 気仙沼市児童虐待及び配偶者等からの暴力被害防止連絡協議会(H18)
 - 南三陸町要保護児童対策地域協議会(H21)



県機関 (協働のベースとして)

- 児童相談所・県保福の管轄市町が一致
- 日頃から相談しやすい関係ができていた
- 震災後、県機関同士・市町との連携が深まる

気仙沼圏域の状況

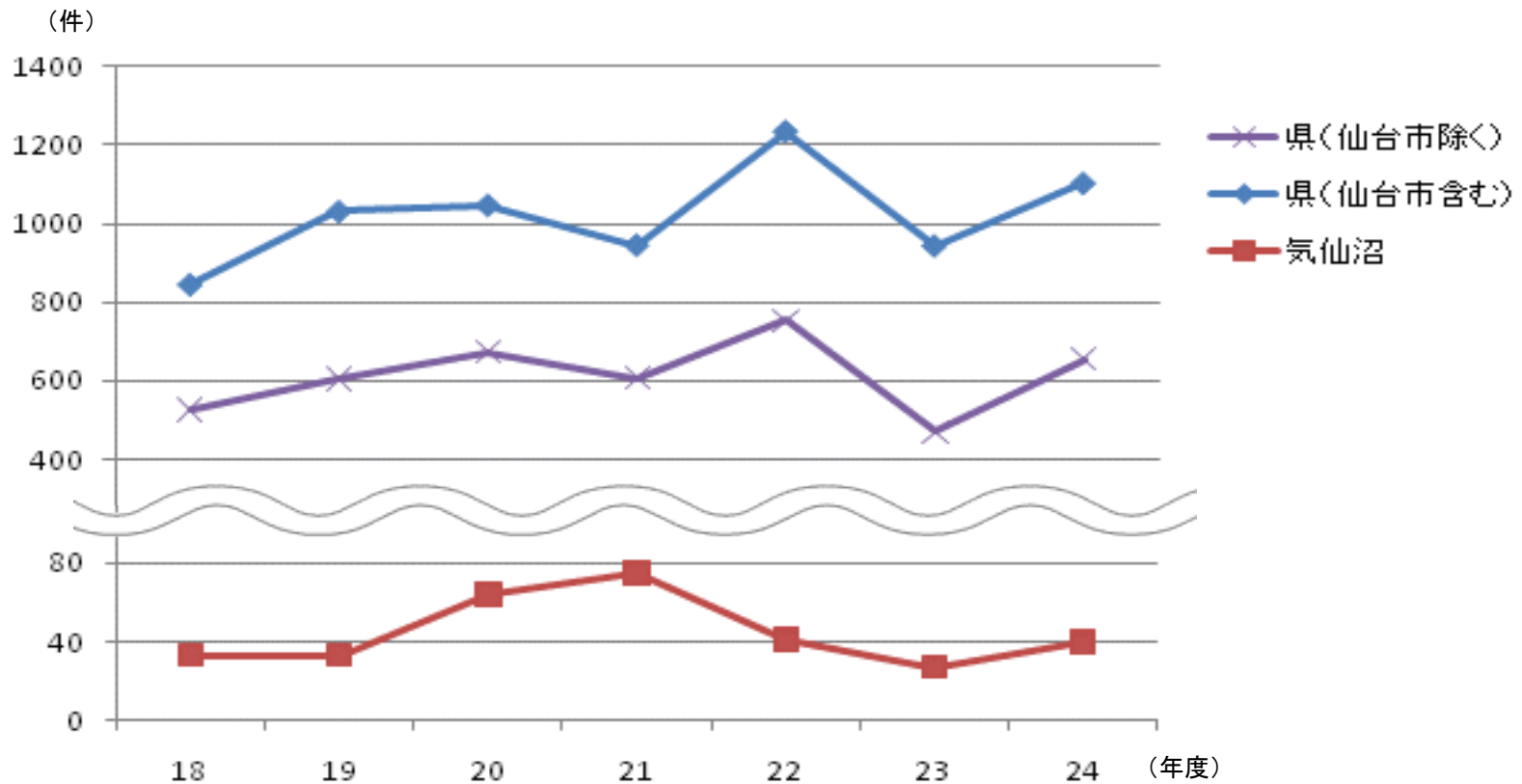


図 虐待相談受付件数の年度別推移

出典:宮城県「児童相談の概要」
(24年度実績は暫定値)

気仙沼圏域の状況

震災による家庭環境の複雑化

単一機関では支援困難。連携強化が必要

要対協に対する認識不足

実態報告の要対協。要対協で何ができるのか？
よりよい支援を目指す共通認識づくりが必要

市町の業務多忙・ノウハウ不足

県機関の協働による技術支援が必要

県の支援内容

児童相談所

- ・ ソーシャルワーク的視点
- ・ 虐待対応のノウハウ
(困難事例対応)



保健福祉事務所

- ・ 母子保健活動での虐待予防の視点(健全な育ち)
- ・ ポピュレーションアプローチの視点

市町を俯瞰した関わり

市町の特徴を把握

要対協運営の課題のアセスメント
支援方針の検討(誰が, どのように)

児相勤務経験者が、
児相の強み・弱みを
理解していた

市
町
へ

南三陸町 ～町の状況～

町保健師中心の虐待対応

震災により、要対協他各種業務は中止
平成24年度 再開および運営の見直し

- ・ 児童台帳作成
- ・ 行政だけでは支援しきれない！
保育所・学校等関係機関との連携強化

町

関係機関との連携を強化したいが、
ノウハウを持ち合わせず

南三陸町 ～県の関わり～

関係機関と趣旨の共通認識を持た
児童の情報共有・支援体制構築がスムーズに

子ども家庭係

健康増進係
(保健)

町

各種会議運営の戦略会議

会議の準備内容、
進行方法

学校・保育所等への
趣旨説明・情報収集

趣旨・運営方法をともに確認

個別支援の検討・助言

他地域の様子の
情報提供

児童相談所

町へ

保健福祉事務所

気仙沼市 ～市の状況～

児童福祉担当者・児童相談所中心の虐待対応

平成23年9月 実務者会議再開

要対協要綱と実態が伴わず

- ・ 市の保健・福祉担当部署，児童相談所，保健福祉事務所が出席
- ・ 各部署・機関で児童台帳を作成し，報告

市

事例対応から運営の見直しを迫られるが，ノウハウを持ち合わせず

気仙沼市 ～県の関わり～

個別事例の支援・台帳の一本化により、
支援の進行管理がしやすくなった

市

台帳の一本化

各種会議運営の戦略会議

個別ケース会議の
進め方

同行訪問

事例検討の積み重ね

児童福祉係
(福祉)

児童相談所

市へ

保健福祉事務所

要対協活動実績

(回)

年度	市町	代表者会議	実務者会議	個別ケース 検討会議 (ケース数)
23	気仙沼市	0	6	5
	南三陸町	0	0	0
24	気仙沼市	1	10	8
	南三陸町	1	3	14
25*	気仙沼市	1	9	7
	南三陸町	1	1	7

* 25年度実績は12月末現在

今後に向けて



震災による子ども・
家族の不安定・
複雑な生活環境

多機関連携による
見守り・支援体制の
構築・維持

関係機関への
要対協の理解促進

関係機関との協働
による経験の蓄積

市町の実効性のある要対協運営の構築

県機関の協働による
継続した支援が必要

ま と め

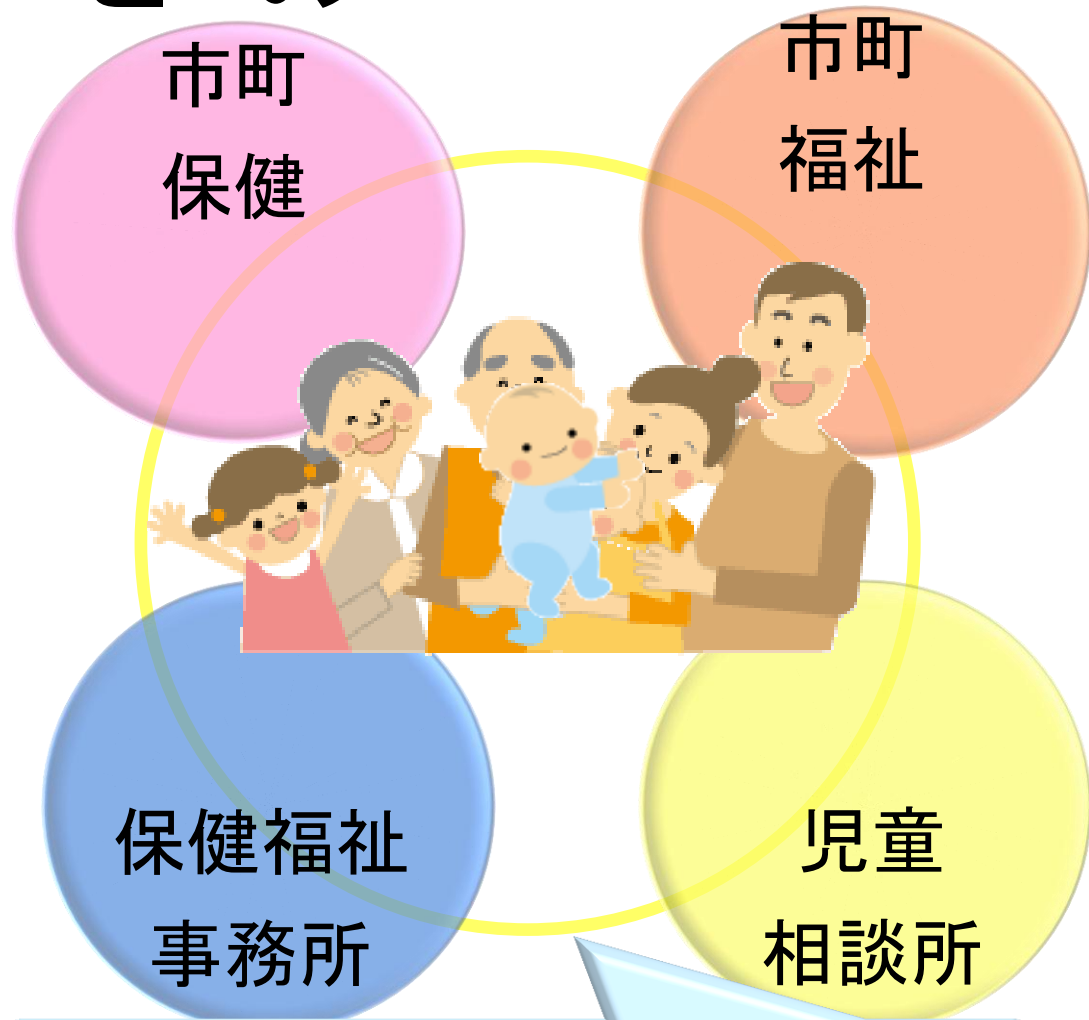
子ども・家族の
生活環境の複雑化



多方面からの
のりしろ型支援



県機関の特性を
生かした市町支援



わたしたちの使命は子どもたちの未来を守ること。
それが宮城の復興につながると信じています。